

ワイルドのSUN SUN
川崎美紀の
SMILE通信
きょうも
おもてなし
日和



4月、古い言い方では卯月(うづき)と言います。旧暦では白く小さな卯(う)の花が咲くころのことで、いまの暦では新年度のスタートです。

新年度は入学や進級、就職、転職などのほかさまざまな人生の節目を迎える方も多い時期です。新しい生活のスタートへ、エールを送ります。

新生活、新たな関係も始まる
嬉しい季節

新生活といえは、この春から中学生になる従甥(いとこおい)がいます。私のいとこの子ども(男の子)です。受験をして都内の中学に進学

することが決まりました。千葉から通う際の乗り換えの駅に私が住んでいます。本人よりも親が心配なのでしょう、慣れるまでの少しの期間は付き添って乗り換えなどの練習を、なんて言っています。嬉しさにあふれています。

何かあれば従伯母(いとこおば)がいるから、と話しました。留守がちですから何ができるのか、いざというときに何の役にも立たない気もするのですが、そういう気持ちでいる人間もいます、頑張っぺピカピカの1年生になってください、と伝えました。

従甥や従伯母と漢字で書くと、誰



イラスト★ささきさとみ (http://blog.goo.ne.jp/satomi343)

量の問題のみならず、衛生面からも気をつける必要があります。その反省から、今年はあるべくコンパクトにすることを心がけ、もちろん分別してギリギリまで家庭内に留めておき、回収日が近くなったら出すようにしました。それでもかなりの量でした。年明け早々、管理人さんが早出をして精力的にまとめてくれました。

今年はまだ1回、10連休があります。4月末から5月にかけての、年号が変わるタイミングです。いままでの経験が試されます。

この10連休は誰にとっても初めてのことで、いろいろなことが想定され想像されます。おめでたいことに伴うお休みです、家でも家以外の場所でも、ストレスにならないよう計画的にごみ・コントロールを心がけたいものです。

さまざまなシーンで問われる
ごみ・リサイクルへの意識

私の場合、ごみ・コントロールで思い浮かぶのがマラソン大会です。

その後も継続的に走り続けていまして、秋から冬にかけていくつかの大会に出ました。フルマラソン(42.195キロ)にハーフ(21.0975キロ)、30キロの大会でも走りました。

ハーフ以上の距離の大会ではコース上に数か所給水所(エイド:Aid stationと呼ぶことも)が設けられていて、走っている途中で水分補給ができます。給水所にはテーブルがあり、その上に水やスポーツドリンクが紙コップに入れて置かれているので、自由に取って飲めます。

テーブルがある場所の少し先にはごみ箱がありますから、飲んだ後の紙コップはごみ箱に入れるようにします。

テレビ中継などで見る、トップランナーがキラキラしたモールなどを付けたスペシャルドリンクのボトルを手にして飲み、その後沿道に捨てる様子をご覧になったことがあると思いますが、あの光景はごく一部のトップエリートランナーにのみ許されたものです。一般市民ランナーは

スペシャルドリンクも置けませんし、基本的には沿道にも捨てません。

1度のマラソンで一人のランナーが少なくとも5、6個の紙コップを使っているのではないかと、もったいないです。走りながら、紙コップであふれたごみ箱を見るたびに、これではいけないと思います。そう思う人が増えてきて、まだ少ないですがマイコップを持って走る人も現れはじめています。

また、一方ではリサイクルを始めている取り組みもあります。ランナーが手荷物を預ける際に使う、大きくて丈夫なビニールバッグを使用後に回収し、リメイクして翌年のバッグとして再活用している大会もあります。

こうした意識の高いマラソン大会には、積極的に参加したいです。参加者への静かなアピールですね。ランナーだけのマラソン大会ではない、地域の理解と協力を得てずっと続けていくための、試みの一つです。

Vol.22 春にして「ごみ」を想う

のことだろうと思います。私の母親といとこの母親が姉妹です。

いとこは親戚の集まりで顔を合わせ、小さいころはよく一緒に遊んだ思い出もたくさんあります。大人になってそれぞれが家庭を持ち、家族が増えてまた新たな関係が増えていくのは嬉しいことです。

持ちものを整理し
引越先でスッキリとスタート

また、春は引越の時期です。引越を機に不要なものを片付けて、スッキリしようと思う人も多いでしょう。

ものは知らず知らずのうちに増えてしまいます。生きていくのに必要な消費活動と割り切るには、あまりにも多くのものを使い捨てて、ある

いは使いつないで生きているように思います。

ごみだと思っていたものが思わぬ価値を得て驚く、なんていうお宝発見もあるかもしれませんね。

ときめくかときめかないかで、ものの要る要らないを決める方法を知ったとき、これは面白いと思いました。いままでない発想です。

値段やしがらみなどではなくて、自分の気持ち、「ときめき度」を優先する判断基準での判断は、なかなか他ではできないものです。取捨選択を迫られた自分を慰めて、納得させるにはいいなあと思います。

引越後の部屋から見える新しい景色に、新生活の実感を得ている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。希望の春です。

ごみ・コントロール必須!
春の10連休

引越をしてもしなくても、家庭から出るごみの量は相変わらず多くて驚きます。

特に今年の年初めは日の並びがよくて、10連休だった方も多かったようです。そうなるごみの回収もお休みになり、家の中でなんとかまとめたおかなければならない事態が発生しました。

私は集合住宅に住んでいるので24時間いつでも屋内の集積場所に持っていける環境ですが、実は一昨年のお正月の時期にあふれてしまったことがありました。皆が好き放題出しているのはやはりリダメですね。



川崎 美紀 (かわさき・みき) オフィスリバー研修講師 <http://www.officeriver.biz>
国際線キャビンアテンダントとして10年乗務、2005年JALアカデミーのインストラクターとなる。同時に個人事務所・オフィスリバーを立ち上げ、2012年独立。2015年日本キャリア開発協会認定キャリアディベロップメントアドバイザー(CDA)の資格を取得。主に企業を対象に、ニーズに応じた研修を提案し提供。近年はビルメンテナンス・警備・ホテル・金融機関など各業界での研修実績を持つ。ビルクリーニングカレッジでは「おもてなしマナー」トレーナー講習を担当。